



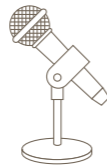
## 監修・解説

岡本 哲志 (おかもと さとし)

都市形成史家。1952年東京都生まれ。博士(工学)。  
2011年都市住宅学会賞著作賞受賞。

### 【近刊書】

『銀座を歩く 四百年の歴史体験』(講談社文庫、2017年)  
『川と掘割 “20の跡” を辿る江戸東京歴史散歩』(PHP新書、2017年)  
『江戸→TOKYO なりたちの教科書 1、2』(淡交社、2017年、2018年)



## 表紙写真出典

1	2
3	
4	7
5	8
6	
9	
10	11

1. 5. 7. 9.  
『関東大震災実況』  
2. 4. 11.  
『東京の四季』  
3. 10  
『日本橋』  
6.  
『復興帝都シンフォニー』  
8.  
『銀座新景』



## ピアノ伴奏 (第1回/第2回)

柳下 美恵 (やなした みえ)

武蔵野音楽大学ピアノ専攻卒業。1995年に映画生誕100年記念  
上映会(朝日新聞社主催)でデビュー以来、国立映画アーカイブや  
ボロニャ復元映画祭など国内・海外の映画館、映画祭で活躍。  
欧米スタイルの無声映画伴奏者は日本初。ドラマ・記録映画、洋画・  
邦画を問わず幅広いジャンルのサイレント映画を伴奏している。



## 申込方法

各開催日の **1ヶ月前** より **A** webサイト、または **B** 往復はがきにてお申し込みください。

### A webサイト

月曜シネサロン&トーク 公式webサイトにアクセスし  
申込フォームよりお申し込みください。

[www.cinesalon.jp](http://www.cinesalon.jp)



■ 申込締切: 各開催日の午前中まで

### B 往復はがき

① 氏名(ふりがな) ② 希望する部(昼or夜) ③ 人数  
を記入の上、下記宛先までお送りください。

〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-5-1  
(株)東京国際フォーラム 事業推進部「シネサロン担当」宛

※ 返信面にご住所・お名前を記入ください。

■ 申込締切: 各開催日の5日前(到着分有効)

- ・申込受付は先着順とし、定員に達し次第受付終了となります。
- ・お申込みは自動返信メール、返信はがきをもって完了といたします。当日いずれかを受付でご提示いただき入場料をお支払いください。

【当日券について】 空席がある場合には当日券も販売いたします。  
当日券の有無につきましては、公式サイト( [www.cinesalon.jp](http://www.cinesalon.jp) )でお知らせいたします。

会場 東京国際フォーラム ホールD1

東京都千代田区丸の内3-5-1

定員 100名(各回入替制・申込先着順)

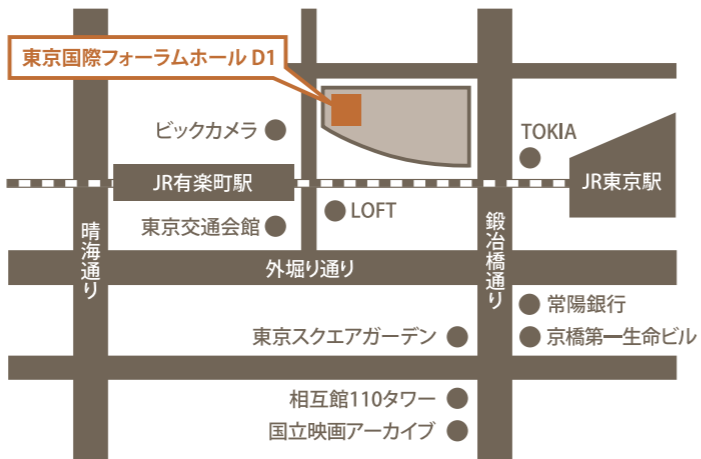
入場料 500円(税込)

※当日入場時にお支払いください。

主催 東京国際フォーラム

国立映画アーカイブ 特別協賛 木下グループ

後援 東京都



【お問い合わせ】 03-5221-9043

東京国際フォーラム事業推進部 シネサロン担当 (平日10:00~17:00)

月曜シネサロン&トーク 公式webサイト [www.cinesalon.jp](http://www.cinesalon.jp)



Tokyo 150

# 東京国際フォーラム+国立映画アーカイブ 月曜シネサロン&トーク 東京150年 —人々の生活と風景—

「月曜シネサロン&トーク」は国立映画アーカイブ  
(旧 東京国立近代美術館フィルムセンター)所蔵の貴重な  
文化記録映画を講師の解説付きで上映する映画会です。  
2018年(平成30年)は東京府開設から150年の節目を記念し  
江戸から近現代に向かう都市や人々の生活風景を通じて  
東京の魅力再発見につながる作品を全4回に渡って上映します。



2018年 第1回 9月10日(月) 第2回 11月19日(月)  
2019年 第3回 1月21日(月) 第4回 3月18日(月)  
開演時間 【昼の部】15:00(開場14:30) 【夜の部】19:00(開場18:30)

会場 東京国際フォーラム ホールD1

主催 東京国際フォーラム  
国立映画アーカイブ 特別協賛 木下グループ

後援 東京都



2018年  
**第1回 9月10日(月)** 【昼の部】15:00～(14:30開場)  
【夜の部】19:00～(18:30開場)

『関東大震災実況』  
(20分/サイレント/染色/Blu-ray)

関東大震災発生直後の映像の中でも「決死的撮影」として名高い日活版のフィルム。被災地の様子が赤や青の染色映像で鮮明に映し出される。

1923年(日活 向島)  
監督・撮影:高阪利光/伊佐山三郎



『SCENES OF JAPAN'S EARTHQUAKE DISASTER』  
(11分/サイレント/白黒/Blu-ray)

パテ・ニュースの米国人カメラマンが撮影した関東大震災の被害記録。車からの移動撮影が多く、全焼した駐米米国大使館に続き、帝国ホテル内に設置された仮駐日米大使館の様子なども映っている。英語字幕のみ。

1923年(アメリカン・パテ・ニュース)  
撮影:ラルフ・アール



ピアノ伴奏あり

『復興帝都シンフォニー』  
(32分/サイレント/白黒/Blu-ray)

関東大震災から復興したモダン都市・東京の姿と人々の生活を詩的に綴った都市映画。オリジナルは36分。所蔵16mmフィルムからのデジタル化。

1929年(財団法人 東京市政調査會)  
撮影:財団法人 大日本教育映画協會



2018年  
**第2回 11月19日(月)** 【昼の部】15:00～(14:30開場)  
【夜の部】19:00～(18:30開場)

『東京の四季』 (54分/サイレント/白黒/Blu-ray)

昭和7年から8年にかけて、夏から春までの四季と年中行事を通して、東京に住む人々の生活を綴った作品。両国橋の川開きから、お台場、月島遊泳場、亀戸の藤、本門寺の会式、東京飛行場、鷺神社の西の市など、東京各地の人々の暮らしが上海事変後の時世とともに捉えられている。

1932年(文部省)



『銀座新景』 (15分/サイレント/白黒/Blu-ray)

日本の小型映画・アマチュア映画界を牽引した個人映画作家・荻野茂二の作品。昭和7年の雪の2月から春にかけての銀座の様子が収められている。都電、柳植樹祭、松坂屋、屋上の遊園地、伊東屋、夜景など。オリジナルは9.5mm。

1932年  
監督・撮影:荻野茂二



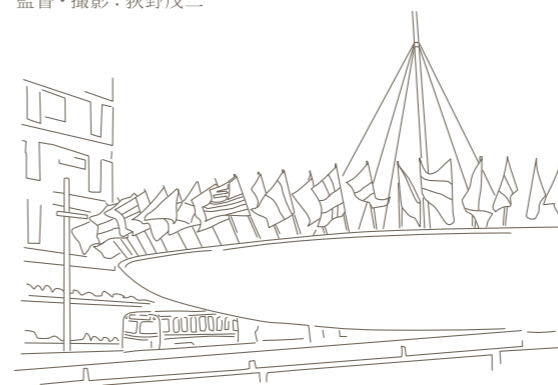
ピアノ伴奏あり

2019年  
**第3回 1月21日(月)** 【昼の部】15:00～(14:30開場)  
【夜の部】19:00～(18:30開場)

『オリンピックの街』  
(27分/カラー/Blu-ray)

東京オリンピックの開催を目前に控えた東京の街の様子を荻野の視点から綴った個人映画。オリンピックにむけた街の賑わいや、様々な準備の様子が収められた貴重な記録。オリジナルは8mm。

1964年  
監督・撮影:荻野茂二



『日本橋』  
(15分/サイレント/白黒/Blu-ray)

東京オリンピックを境に変わっていく日本橋の景観を3年間にわたって記録した作品。首都高速が建設される前から建設後の日本橋の姿が収められている。オリジナルは8mm。

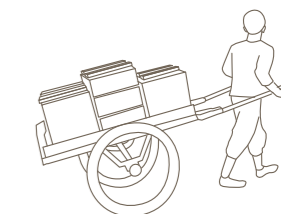
1964年  
監督・撮影:荻野茂二



『佃島』  
(18分/カラー/Blu-ray)

隅田川にかかる佃大橋の建設に伴い320年の歴史を閉じた、江戸情緒たどる佃島渡船の記録。1960年代の佃の渡し情景や、佃島の人々の生活が描かれている。所蔵16mmフィルムからのデジタル化。

1964年  
製作:浮田遊兒



2019年  
**第4回 3月18日(月)** 【昼の部】15:00～(14:30開場)  
【夜の部】19:00～(18:30開場)

『銀座のしいのみ』 (32分/白黒/Blu-ray)

銀座を舞台にしたNo.1映画は何か。迷いなく『銀座のしいのみ』(東映・1957年)と答える。児童映画だが、侮ってはいけない。街も、生活の場も、路地も、靴磨の人も、遊ぶ子供たちも、全て現場での撮影。ただ、この映画を知る人はほとんどいない。——岡本哲志

1957年(東映 教育映画部) 監督:堀内甲 撮影:黒田清巳



『大東京祭 —開都五百年記念—』(予定・調整中)  
(20分/白黒/Blu-ray)

1956年10月1日から15日間にわたって行われた開都五百年記念の各種行事の記録。所蔵16mmフィルムからのデジタル化。

1956年(東京都映画協会)  
監督:伊勢長之助  
撮影:喜多村幸次郎/浅野正博/長瀬直道  
解説:高橋圭三

『魚市場の一日』 (23分/カラー/Blu-ray)

1960年代の東京都中央卸売市場築地市場の1日を記録した貴重な映像。漁船をはじめ、全国から水産物を積んだ貨物列車やトラックが次々と集まってくる築地市場の活況が捉えられている。所蔵16mmフィルムからのデジタル化。

1964年頃(財団法人 東京水産振興會)  
監督:浮田遊兒  
撮影:竹田悦郎

